

ゲームやテレビ等に費やす時間と影響(活用例 その2) 指導のためのプログラム

1. 指導の機会

学級懇談会

2. 対象

全校保護者

3. ねらい

ゲーム・テレビ等の視聴時間やその及ぼす影響について保護者への啓発を図り、保護者同士で話し合うことで、子どもの生活により目を向けてもらう。

(1) 題材 ゲーム・テレビ等に費やす時間と影響

(2) 展開

時配	指導の流れ	指導上の留意点
5	1 導入 ○ゲームやテレビ等についてのアンケート結果を発表し、親の現状を確認する。	○保護者個々のアンケートを実施する。事前に、児童からも「テレビやゲームを1日どれくらい楽しめますか。(平日)(休日)」のアンケートをとり、児童のテレビ視聴等の実態把握をしておく。
20	2 展開 (1) グループになり、子どものゲームやテレビ等の視聴時間や視聴内容などの様子について話し合う。 ＜話し合いのポイント＞ ・視聴内容(年齢にあった内容なのか) ・費やす時間 ・場所(どんな場所で?ゲームについては公共の場で行っているのか?など) (2) 児童のアンケート結果を話し、保護者の考えとの相違点について考える。 (3) ゲームやテレビの視聴についての家庭での約束を考える。 ＜家庭での約束のポイント＞ ・遊ぶ時間を決める ・場所を選んで遊ぶ ・家の人がいる部屋で遊ぶ ・ゲームを持っていない友達との遊び方	○それぞれの家庭で、テレビやゲームの視聴時間や内容についてどのような実態があるのか、また、どのように保護者は考えているのか等について話し合ってもらおう。 ○事前にとっておいた児童のアンケート結果から、保護者の認識と児童の実態に相違点がないかどうか考え、児童の生活により目を向けようとする意識を高める。 ○それぞれの家庭なりの約束事や様子を参考にし、それぞれの家庭に即したゲームやテレビの視聴方法を考えてもらう。

5	3 まとめ ○家庭教育支援資料「ゲーム・テレビ等に費やす時間と影響」をもとに、家庭でのゲームやテレビの視聴や影響について説明し、まとめを行う。 ・ゲームやテレビの視聴時間を家庭で話し合うなど、家族の会話を大切に。 ・家族の約束を設けるなどして、子どもの基本的な生活習慣を身につけることが、子どもの健やかな成長につながる。	○感想を発表してもらいながら、基本的な生活習慣をきちんと身につけるには、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が基本であることを伝える。また、基本的な生活習慣は、子どもの健やかな成長には欠かせないことも知ってもらおう。
---	--	--